慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	Syndicalism, by Ramsay Macdonald
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1913
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.7, No.1 (1913. 1) ,p.208- 216
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19130122-0208

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

Syndicalism

by J. Ramsay Macdonald

千九百十三年發行　小判七十二頁
東京賣價　七十五錢

本書は英國下院議員マクドナルド氏が千九百十二年五月中デイリー・クロニクルに寄稿したるシンヂカリズムの性質と現狀とに關する論文を集めて之に多少の訂正を加へて一冊として上梓したるものなるが、本書を分ちて緒論、第一章勞働組合、社會主義、シンヂカリズム、第二章政治的活動と聯合大同盟罷工、第三章ソレルの哲學、第四章直接的行動、第五章歐洲及び米國に於けるシンヂカリズム、第六章大英國に於けるシンヂカリズム、第七章シンヂカリズムの主義第八章シンヂカリズムの綱領及び第九章結論とす。其所論の大要は左の如し。

「シンヂカリズム」は佛語にして、其意義は勞働組合に外ならず。佛國には勞働組合に二派あり。一は改革的シンヂカリズム syndicalisme réformiste にして他は革命的シンヂカリズム syndicalisme révolutionnaire なり。英國に於てシンヂカリズムと稱するは後者なりとす。著者の説明せんと欲するは此後者卽ち狹義の意義に於けるシンヂカリズムなり。さはれ前者卽ち改革的シンヂカリズムの綱領は英國の勞働黨の綱領と略同一にして佛國に於ける勞働組合員の大多數の歡迎する所なりとす。（緒論）

シンヂカリズムは現今の資本制度の廢止を以て其の綱領と爲すものにして、其の組織は英國勞働組合の組織に毫も異らず。卽ちシンヂカリズムは常に勞働者に對して各其の職業に從ひ組合を組織し、又各地に在る諸種の組合の聯合會を設け且つ總ての勞働組合の中央機關を設立することを慫慂す。佛國に於ては此中央機關を名けて勞働組合大同盟會 Confédération Générale du Travail と稱す。要するにシンヂカリズムは

英國に於ける勞働組合と異なる所なく、唯之を革命的の目的に利用せるのみ。されど、シンヂカリズムは勞働組合と同じく賃銀の增率、勞働時間の短縮、勞働狀態の改善の爲めに努力するに躊躇するものに非ず。而かも此種の改善はシンヂカリズムの目的と爲す所に非ずして、其活動の副產物たるに過ぎざるのみならず、極端なる論者は此種の改善を以て寧ろシンヂカリズムの終局の目的を達する上に於いて障碍と爲るものなりと云ふならん。シンヂカリズムの主張する所に據れば、生產に從事する勞働者が各其生產に用ゆる土地資本等の所有主と爲り、既に政權が平等と爲りたる如く財力も亦平等と爲るに非ずんば、彼等は自由の民たること能はざるべし。因是觀之、シンヂカリズムは其一脚を勞働組合に置くと同時に、他の一脚の一部分を社會主義の上に置けり。何を以て乎一部分と云ふ。曰く社會主義は生產の要素をば社會の所有に歸せしめんことを主張するに反し、シンヂカリズムは各特種の職業に從事せる勞働者をして其職業に用ゆる生產の要素を所有せしめんことを主唱す例へば鐵道員が鐵道を所有し、鑛夫が鑛山を所有するが如し。さはれこはシンヂカリズムの根本的擴張に非ざれば、之を以てシンヂカリズムと社會主義との間に於ける根本的相異の點と看做すことを得ず。但しシンヂカリズムは國有には反對なり。如何となれば、國有制度の下に於ける政府當局者は依然資本家たるものなればなり。

斯くの如く、シンヂカリズムは社會主義と其性質を同じくせる所あるも、兩者の用ゆる手段に至りては、天地雲泥の差あり。社會主義が其の目的を達する爲に政治運動と勞働組合其物の活動とを併用せんとするに反し、シンヂカリズムは勞働組合の活動のみを用ゐんとす。前者は全國民の公論に訴へんとするに對し、後者は單に

勞働者階級を相手とせり。前者は又立法の作用に依りて改革を計るに反し、後者は腕力（生産事業の妨害又は革命的一撲）に依りて經濟組織の革命を企てんと欲す。要するにシンヂカリズムは主として社會主義に對して反旗を飜すものにして、社會主義が遲々たる立法の手段に依りて勞働者の地位を改善せんと勉むるに反し、シンヂカリズムは極端なる同盟罷工を擧行して備主を窮地に陷れんと爲すに外ならず。（第一章）

シンヂカリズムの金科玉條と爲す所は階級爭鬪にして、政事を事とせず。其の主張する所に據れば國家なるものは空想的の觀念に外ならず如何となれば社會には經濟的強者と弱者ありて強者は常に弱者を壓倒しつゝあるものなれば、此二階級を以て國家を形成せんと爲すは一夢想に過ぎざればなり。而かもシンヂカリズムが非國家主義なるは政治と政治家とに嫌厭たるにあらずして、其の信念其物が非國家主義たるを以て也。今日の政治は富豪の爲めの政治にして勞働者の爲めの政治に非ず。されば勞働者は政治的團結を排して產業的團結を行ひ、間接的方法を捨て、直接的方法を採り、以て其の地位の改善を計らざるべからず。故に勞働者の爭鬪場と爲すべき場所は國家に非ずして工場なりとす。其の問題と爲すべきものは政治に非ずして經濟なり。而して其直接的方法とは何ぞや。曰く、聯合大同盟罷工卽ち是れ也。此聯合同盟罷工たるや曾て英國に於ける勞働者が屢々用ゐたる武器なるも、其後暫時其跡を絕ちたりしが、千八百九十二年に至りてツールに於いて開きたる佛國勞働組合の地方聯合會議に於いて之を採用するとに決定したると、其後マルセーユに於ける勞働組合大聯合會の之を採用するに一決したるときよりして再び此武器を復活せり。

聯合同盟罷工なるものは普通の同盟罷工の如く賃銀の値上げ又は勞働狀態の改善を目的として爲すに非ずして、經濟界の革命を以て其本義とせり。政治家が勞働者の勞働狀態の改善を目的として新法律を設くるとも、經濟界の强者は此法律を寸斷し、之を曲解して自己の利益に適合せしめ、之を一笑に附し去るの常なれば、國民は此種の法律制定を袖手傍觀するのみなるも、一朝聯合大同盟罷工の成立せんか、國民は袖手傍觀するとを得ざると同時に經濟界の强者も亦之を一笑に附し去ることを得ざるなり。是れ卽ちシンヂカリズムと社會主義との主張手段の分岐する所なりとす。（第二章）

然りと雖も、シンヂカリズムは單に無政府主義に心痒せる勞働者の奮起たるに止らずして、是れには一種の哲理を根據とせるものあり。此哲理の主唱者にして最も有名なるはソレルなりとす。ソレルの言に據れば、社會の制度は經世家の判斷又は學者の熟慮の生みたるものに非ずして、人生の要素を悉く網羅し且つ之を結晶せるものに外ならず。人生の最大急務は常に生命に活氣を與へ、之をして熱望を懷かしめ、且つ創作力を富ましむるに在り。熱望を懷かざる人民は亡び、熱望を有する人民は安座することを得ざるなり。吾人の感情が時としては理性と熟慮を驅逐して抑制力をして其權威を失はしむるに至ることあるは吾人の悉く經驗する所なりとす。斯くの如く一朝吾人にして感情の人とならんか、吾人は平素の吾人を超越して偉大なる所作を爲し得るものなり。抑も行爲の眞價なるものは用意周到なる顧慮に依りて定まらずして燃ゆるが如き熱情に依りて定まる。

要するにソレルの哲學はベルグリンの哲學の感化を受けたるものなるのみならず、前者は後者より更に一歩を進めて社會制度の改造上後者の重要と認むる批評力の必要を否定せり。冷靜なる又は理性的の考慮に類するものは一切ソレルの放棄する所にして、靈感的行爲の原動力たる感情を維持する爲めに、彼れは聯合大同盟罷

工を用ゐんと欲す。

シンヂカリズムは又多數黨の支配權を否定す由來政治上の變動は少數派が自黨の爲めに現實せしめたるものなり。大多數の利益の爲めに變化を來たさしめたるときと雖も、之を可能ならしめたるは依然少數黨なり。されぱシンヂカリズムは露骨に活動的の少數黨を構成せんと欲す。（第三章）

シンヂカリズムは其の目的を達する爲め所謂直接的行動を執りつゝあり。其行動を直接的と稱するは仲介者又は代表者の手を藉らずして、シンヂカリズム歸依者各自の行動に依りて目的を達せんと爲すを以て也。彼等は彼等の階級と雇主の階級とが吳越の關係の上に立てりとの前提を置き、何等の協定、和解に耳を傾けず、彼等は從來侮辱を蒙り、蔑視され、法外に低廉なる賃銀を受くること久しかりしが、彼等にして一朝奮起して產業を荒廢せしめんか、社會は遂に疲弊困憊して彼等の足前に膝を屈して再び產業に從事せんことを哀願するに至るべく、從つて勞働者は自己の欲する勞働條件を强請することを得べし。而して此狀態を現出せしめんが爲めシンヂカリズムの採る重要なる一方法は故意に仕事を遲延せしめ、又は彼等の用ゐる工場の機械器具等を毀損するに在り。（第四章）

シンヂカリズムは佛國に生る。千八百八十八年勞働組合はボードーに於て聯合大會を開き聯合同盟罷工の決議を爲し。次いで千八百九十二年マルセーユに於いて資本主と勞働者との間の爭議は立法の手段を以て之を鎭定する能はざるものにして勞働者に經濟的自由を與ふるものは產業組織の革命を措きて他に無しとの決議をせり。次に千八百九十四年ナンテに於いて大會を開き其會議中社會主義を奉ぜる者とシンヂカリズムの領袖ブリアンとは覇を爭ひたりしが、遂にブリアンの勝利に歸し、此年勞働組合大同盟

會は成れり。同會は佛蘭西全國に於ける勞働組合の聯合にして二部に分かる。一は英國に於ける勞働組合と同樣にして、他は同じく英國に於ける同業組合聯合會に髣髴たり。兩者は各其の委員會と基本金を有し、外に聯合委員會なるものありて同盟會の監理と主義の普及とを司どる最初政黨と勞働組合との聯合を企圖しつゝありし間は其勢力微々として振はざりしが、千九百年革命派の覇を握るに至りて始めて隆盛の域に進めり。

然りと雖も、數字を以て之を論せば、此同盟會は頗る振はざるなり。佛國には千百萬の賃銀勞働者在るも、勞働組合に屬するは僅かに百萬人に過ぎず。此百萬人中にて同盟會々員たる者は僅々四十萬にして、其中少なくとも二十五萬は腕力的の行動と聯合委員會の革命的主義に反對せり。又同盟會は『民の聲』と稱する週刊雜誌を發行せるが、其發賣部數僅かに六千部に過ぎず。要するに佛國はシンヂカリズムの主義政策を普及するに便宜多き處なるも、此新運動は微々として振はず、又其の勢力を增しつゝあんと云ふことを得ざるなり。

獨逸に於てはシンヂカリズムは殆んど存在せず、伊太利に於ては勞働者間の無政府主義の傾向の一分子と爲り、和蘭に於ては之を組織せんとせしも其効なく、白耳義も亦之と同じ。其他北部の諸國に至りてはシンヂカリズムは跡を見ず之に反して米國に於ては稍其の勢力の見るべきものあり。同國に於ける政治の腐敗、政黨本部の勢力、數多の人種の雜居より來る選擧上の缺點等は勞働組合及び社會主義の發展を妨げ、從つてシンヂカリズムの活動を幫助するに至れりゴンパー氏の率ゆる米國勞働聯合會に反抗して組織されたるものを世界產業勞働者會と稱す。此會は其大會を始めて千九百五年市俄古に之を開けり。此會の企圖する所は賃銀勞働者を結合

して革命的團結を組織し、各職業の勞働組合の離壁を打破して以て精練勞働者と不精練勞働者とをして互に一致協力せしめ一職業に屬する勞働者の同盟罷工をして全般の勞働者の同盟罷工たらしめんと爲すに在り。然りと雖も、米國に於てすら、純粋の社會黨の勃興は革命派の前途を危ふせしめ、且つ同盟罷工は革命的の色彩を帶びずして、單に經濟的根據のみを有するものと爲りつゝあり。（第五章）又英國にはシンヂカリズムと稱し得るもの殆んどなし。（第六章）

シンヂカリズムを批評するに當りて二個の異れる方面より之を觀るを要す。一はシンヂカリズムの根據たる主張にして、他は其活動の方針なりとす。其の主張する命題は今日社會に於て雇者被雇者の二大階級ありて此階級間には爭鬪絶ゆることなしと云ふに在り。勞働組合の存在は此命題が一面の眞理を有するを證するものと謂ふべし。さはれ此爭鬪は左程明白なるものにも將た又た普遍的のものにも非ざるなり。抑も社會は生產者、消費者及び生產者と消費者を兼ねたる者より成る。而して消費は社會經濟組織に必要缺くべからざるものなりとす。又生產者と消費者との關係は單に經濟的なるのみに非ずして心理的の作用を有す。弱者は時として其の保護者を去つて强者の許へ走り命を待つことあり。又經濟的弱者の階級中及び經濟的强者の階級中に由々敷經濟上の爭鬪あり。之を根本的に論せば、生產者と消費者、一職業に從事せる勞働者と他の職業に從事せる勞働者との爭鬪なりシンヂカリズムの攻擊する經濟界の弱肉强食は事實なりと雖も、こは强者の創始せるものに非ずして經濟界進化の結果に外ならず。經濟界の實權は之を發展、組織せしむる爲に個人の手に委ねるを必要とせしなり。シンヂカリズムは又國會の運用を否認せるも、國會は社會の秩序と前後一貫せる產業政策の成立とに必要缺くべか

らざるものなりとす。シンヂカリズムの主唱する國家は其の基礎を全く經濟組織に置くものにして、絞取的の組織としては最惡のものたり。斯くの如き國家はトラスト組織の進化せしものと看做すなり。要するにシンヂカリズムの主義は取るに足らざるものなりとす。（第七章）

シンヂカリズムは斯くの如く一の主義として取るに足らざるものなるが、其の活動は果して奈何。シンヂカリズムが其の目的を達する爲めに用ゆるシンヂカリズム特有の手段は前述の如く聯合同盟罷工なり。即ち產業を中止せしめ、之に依りて社會をして勞働者の前に膝を屈せしめ、現今の資本制度を破壞して、新たに健實なる產業組織を樹てんと欲するものなり。聯合同盟罷工なるものは賃銀の値上又は勞働狀態の改善を目的として、或は又革命的の希望を以て之を行ふことを得べし。而して前者は成功するの見込あるも、後者は成功の見込なし。如何んとなれば、前者の場合には人は皆同盟罷工の理由を知り、其罷工たるや的確の目的を有するものなるに反し、後者の場合には主動者すらも、其社會的革命に關して何等明確なる觀念を有せず、況んや大多數の陣笠に於てをや。シンヂカリズムを奉ずる者は思へらく、一朝聯合同盟罷工の成立せんか、彼等が其の目的を遂げ得るは唯時を待つのみと。さはれ、這は謬見たりと云はざるを得ず。如何となれば社會を構成する個人は自家保存の本能を有するを以て、社會の產業を中絶せしめんと試みるシンヂカリズム派の勞働者に對し一致團結して反抗するに至るべければなり。加之、同盟罷工者に對する惡評は彼等の中に落伍者を生ぜしむるに至るべし。彼等は又其目的とする產業組織の革命をば所謂受動的抵抗を用ゐて現實せしめんと欲するものなるも、社會は同盟罷工をして永久に持續するを容すこと能はざれば、兵力を藉りても產業の恢復を計

るべし。若し果して然らば、シンヂカリズム派は之を袖手傍觀することを得るや。彼等も亦腕力に訴へても其目的を達せんと爲すに至るならん。而かも這は受動的抵抗に非ざるを奈何せん。（第八章）

さはれシンヂカリズムは勞働者階級に對して貢獻する所なきにしもあらず。其貢獻とは何ぞや。曰く、各組合に屬する勞働が自己の利害問題の解決を他人に委ねて安眠を貪ぼるべからざることを適切に呼號せしにあり。勞働問題の解決に勉めつゝある者に三派あり。一は國家社會主義を奉ずる者にして、總ての問題を國會の運用に依りて解決し、國家に絶對的權威を與へんと欲する者卽ち是れなり。一はシンヂカリズムにして是れ本書に於て論じたる所なり。又一は勞働黨にして政黨と協力して勞働者の進步發展を計るものたり。此三派の中にて將來の進步を確證するものは後者を措きて他に在らず。（第九章）

以上は本書所論の梗概を述べたるものなるが、七十二頁の小冊良くシンヂカリズムの希望と行動とを說明して餘蘊なきが如し。行文又流暢にして讀下して痛快を感ず。文體は多少の缺點なきにしも非ざれども、概して古典的とも云ふべきか。唯憾むらくは本書の論據たるや餘りに勞働黨に偏してシンヂカリズムに對する批評は多少苛酷に失するの虞あるのみ。

二一六

前號（第六卷第四號）目次

論說

- 小作料金納の利害　法學博士　桑田熊藏
- 住居問題　ドクトル、フイロソフイ　氣賀勘重
- 商人の意義に關する立法主義　法學博士　松本烝治
- 原始民族に於ける交換の意義　文學士　阿部秀助
- 國際法上國家及び國家の分類に關する私論　慶應義塾大學教授　板倉卓造

雜錄

- 歐洲に於ける特異なる三種の銀行　小原喜三郎
- 株式の消却　在獨逸　西本辰之助
- 英國國民保險法　增井幸雄
- 憲法發展上に於ける合衆國の地位　吉田三郎
- 經濟學上より自殺を論じて乃木大將の自刃に及ぶ　ドクトル、オブ、フイロソフイ　高城仙次郎

紹介

（河田學士・岡本學士）共著『日本の經濟と佛敎』（松本）

編輯主任　高城仙次郎

一冊定價　金廿五錢　郵稅金六錢
一ヶ年前金　金九拾錢　郵稅金廿四錢

- 編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
- 營業に關する用件は發賣所宛
- 原稿締切期日は發行の前月十五日限

大正二年一月二十日印刷
大正二年一月廿二日發行

三田學會雜誌
禁轉載
第七卷第一號

年四回　一月、四月、七月、十月發行

東京市芝區白金三光町四百五十一番地
編輯兼發行者　田中一貞
東京市京橋區宗十郎町十五番地
印刷者　中島丑之助
東京市京橋區宗十郎町十五番地
印刷所　合資會社東京國文社

東京市小石川區櫻木町六番地
發賣元　北文館
振替東京二四四八四番
電話番町二五八一番

- 尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所　東京芝三田慶應義塾內　三田學會